

スーパーエコシップ(SESフェーズ2)の研究開発

目的

内航物流における大幅なコスト削減、快適な労働環境、環境負荷の低減を実現するため、新技術の開発を引き続き推進する。

内容

高効率船用ガスタービンエンジン、抵抗の少ない新船型、ポッド式二重反転プロペラ、省人化システム等の革新的技術を取り入れた次世代内航船(スーパーエコシップ)を開発する。

次世代内航船推進システムの開発・実証

次世代内航船推進システムの採用により、理想の船型の採用(抵抗約10%削減+積載量20%増大)が可能になり、これにより、内航輸送コストの削減が図られる。

スーパーマリンガスタービン

環境負荷低減(NO_x 90%減, SO_x 60%減, CO₂ 25%減) 船上メンテナンスフリー
従来型のガスタービンと比べ燃料消費量約30%減

二重反転ポッドプロペラ

推進効率10%増



開発スケジュール

内航輸送コストの削減
安全運航を確保しつつ省人化を促進
船単体としての環境負荷の低減



物流効率化
物流における環境負荷低減

	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	
新船型等	市場調査・基本設計			船型開発	省人化	実証試験	
ポッド	要素技術開発		実寸モデル製作・試験		次世代内航推進システム実証機設計・建造		
SMGT	研究開発		耐久試験				